



Title	沖縄県の幼児の読書環境を拓くための予備的研究
Author(s)	嘉数, 朝子; 上地, 亜矢子; 松岡, 幸子; 嵩原, 直子; 仲森, 夫美子; 島袋, 貴子; 渡久山, 恵美理; 宮里, 文子; 比嘉, 逸子; 前城, 晶子; 小林, 貞浩; 島袋, 恒男
Citation	琉球大学教育学部障害児教育実践センター紀要 = The bulletin of the Research and Clinical Center for Handicapped Children(5): 1-11
Issue Date	2003-05-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/5091">http://hdl.handle.net/20.500.12000/5091</a>
Rights	

## 沖縄県の幼児の読書環境を拓くための予備的研究

嘉数 朝子\* 上地亜矢子\* 松岡 幸子\*\* 嵩原 直子\*\*  
仲盛夫美子\*\* 島袋 貴子\*\* 渡久山恵美理\*\* 宮里 文子\*\*  
比嘉 逸子\*\* 前城 晶子\*\* 小林 貞浩\*\*\* 島袋 恒男\*

### The Preliminary Study of Home Environment on Reading in Okinawan young Children

KAKAZU Tomoko UECHI Ayako MATHUOKA Satiko TAKEHARA Naoko  
NAKAMORI Fumiko SHIMABUKURO Takako TOKUYAMA Emiri MIYAZATO Fumiko  
HIGA Itsuko MAESIRO Akiko KOBAYASHI Sadahiro SHIMABUKURO Tsuneo

#### <要約>

子どもの読書行動に影響を持つ要因の中でも家庭と学校の環境は特に重要である。本研究では幼児期における読書環境の重要性を検討することを目的とする。研究1では幼児期の家庭における読書環境について検討した。最後に補稿として市立幼稚園における読書指導の一例をあげた。

Key words: 幼児期の読書行動 読書環境 家庭 幼稚園

#### <問題と目的>

##### 問題

若者の活字離れが指摘されてから久しい。特に沖縄県は、人口1人当たりの年間書籍小売販売額が13,911円で全国42位と低い(沖縄県, 2001)。原因としてはTVやゲームなどメディア環境の変化が大きい要因であろう。読書の重要性はわかっているが、どう指導していいか分からないと悩む親や教師は多い。親自身がすでに活字離れの世代である。情報を得るためのメディアは本以外にもたくさんあり、情報収集の手段は読書に限らないのではという意見もある。

しかし、現代においても子どもの発達に及ぼす読書の意義は大きい。特に幼児期においては、読書は絵本が主体となるが、絵本の持つ力は教育的

意味だけでなく、親子間の情緒的つながりの面でも大きい。田代(2001)は端的に「子どもと楽しい時をすごそうと大人がよんであげたくなるのが絵本です」と表現している。河合・松居・柳田(2001)は絵本の持つ力について座談会をしているが、その中で松居は絵本の性質について次のように述べている。「絵本は大人に読んでもらうもの。耳から聞いた言葉と目で見た言葉の世界が子どもの中で1つになり、そこに絵本ができる」。ここに親子の触れあいが生まれ、親子の絆も強まっていくと思われる。また守屋(1994)は、絵本を通じて子どもが自己を形成していく様子を文化比較研究の中で明らかにしている。

本好きな子にするためには、幼児期からの読書環境が重要である。秋田(1998a)は子どもの発達と読書環境を考える視点として最近の発達心理学の中から以下の3つの視点をあげている。第1は社会文化的活動への参加という視点である。これは、子どもはある共同体の中で、大人に導かれてある活動(食事、学習、読書など)に参加しな

\*Faculty of Education, Univ. of the Ryukyus

\*\*Yogi Kindergarten

\*\*\*Elementary School, Univ. of the Ryukyus

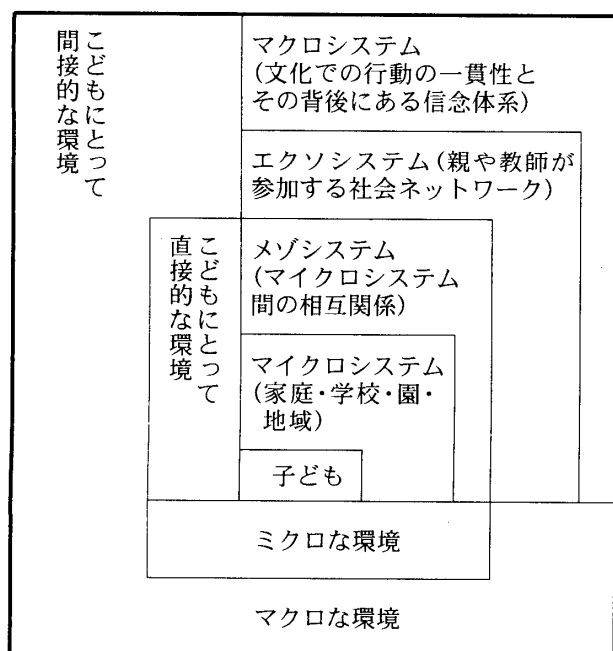


図1 子どもをとりまく生態学的な環境  
(Bronfenbrenner, 1996;  
田島, 1985に筆者が一部加筆)

がら学び、一人前になっていくという観点である。第2は「環境はあたえられるものだけではなく、大人と子ども、活動への参加者が共に構成していくもの」という能動性に関する視点である。例えば、発達段階によって読書行動が変わり、適切な読書環境も異なってくるのが考えられる。第3は、「環境を直接的な環境だけでなく間接的な環境まで、ミクロな環境、マクロな環境というシステムとして広い視点から捉える」という視点である。Bronfenbrenner (1996) は図1のように子どもをとりまく環境に4つの位相（マイクロ（役割、対人関係）システム、メゾ（2つ以上の場面間の関係）システム、エクソ（間接的影響）システム、マクロ（文化全体）システム）があると提唱している。読書環境というと子どもと親や教師との関係のようなミクロな視点が重視されがちで、マクロな位相以上の上位の相は忘れられがちである。しかし、子どもの読書環境を拓くという際には、家庭や学校だけでなく地域との関係、例えば公立図書館なども重要なリソースである。例えば教師同士が互いに学級文庫の交換をすることで情報交換が生まれる。また、学校図書館や公共図書館が連帯しあうことによって子どもが触れることのできる本の数や場所が増大する。保護者

が学校での読み聞かせに参加することもある。これらは子どもだけや家庭だけ、学校だけでは作ることのできないネットワークである。

本研究では、秋田の第1の視点にたつて、幼児期の読書環境の影響に焦点をあてる。環境の影響では、行動面（頻度など）だけでなく、認識面（目的や評価など）も重要である。近年、親が持つ信念と養育行動や子どもの発達との関連（東；1994）が注目されてきているが、読書環境においても親がどのような考えを持っているかは重要な変数である。第3の視点としては、補稿の中で幼稚園における読書環境のエクソシステムを構築する試みを紹介する。その効果を量的に測定することは困難なので補稿とする。

幼児期の読書環境としては、絵本の読み聞かせは最も重要なものである。秋田 (1998b) は読み聞かせを読書の熟達化の文脈で考え、本の扱い方に1年間かけて習熟していく様子を質的な研究の中で具体的に丁寧にみている。

読み聞かせの意義を母親に強調すると、次のような感想が返ってくることもある。「どんな絵本を選んでいいかわからない」、「子どもが興味を示さない。ページをとばしたがる。聞いてくれない。声を出すことに抵抗がある。気恥ずかしい」など。実際には、読書の熟達過程の途中であきらめてしまふ親も多いのではないだろうか。また、モデリング（観察学習）の立場にたてば、親の読書好きも子どもにも影響する。多様なメディアが併存する現代において、幼児期に親子を含めた読書指導することは現代的意義がある。

子どもの読書行動に及ぼす家庭の影響を検討した実証的研究としては次のようなものがある。幼児の読書行動に及ぼす家庭環境の影響について、秋田・無籐 (1996) は『幼児期の読み聞かせに対する母親の意義の認識』を東京都の私立幼稚園の年長、年中、年少児を持つ母親293名を対象に検討した。その結果、読み聞かせの意義として「空間・ふれあい」という内生的意義を重視するものが多いが、「文字・知識習得」という読み聞かせの結果として生じる知的な外生的意義を重視している者もいた。すなわち、読み聞かせに見出す意義は必ずしも皆同じでなく、個人差があることが明らかになった。

小林 (2000) は沖縄県の小学生 5 年生 476 名とその保護者を対象として児童の読書行動に及ぼす家庭環境の影響について検討した。①秋田らと同様に読み聞かせの意義として、内生的意義と外生的意義が認められた。②読み聞かせの方法として説明的、子ども中心的の 2 方法が抽出された。③児童の読書態度は困難性、手段性、内発的意欲の 3 次元で構成されていた。④外生的意義を重視する親は説明的読み聞かせ方を、内生的意義を重視する親は子ども中心的読み聞かせ方をする傾向がみられた。また、内生的意義を重視する親は読み聞かせ頻度が多く、より早い時期から始め、終える時期も遅いという傾向がみられた。小林の方法は、小学校高学年生を持つ親に回想的に過去の読み聞かせについて聞くという手段をとっており、記憶には歪みが生じる可能性は否定できない。

本研究では、読み聞かせ開始時期の幼児期における、親の読み聞かせと幼児の読書行動に及ぼす家庭環境の影響について検討することを目的とする。具体的には、幼稚園に入園して間もなくの時期に調査を実施した。測度としては読み聞かせの開始時期、頻度、時間などを検討する。その他に、子どもを本に誘う読書環境の指標として、書店や図書館へ子どもを連れて行くか、絵本を購入するかという項目もとりあげた。

## 【方 法】

**対象者：**沖縄県那覇市立 Y 幼稚園で調査用紙を配布 (2002 年 6 月下旬)、在園児 80 名の中から回答が得られた親は 63 名であった。内訳は男児を持つ群 33 名、女児を持つ群 30 名であった。

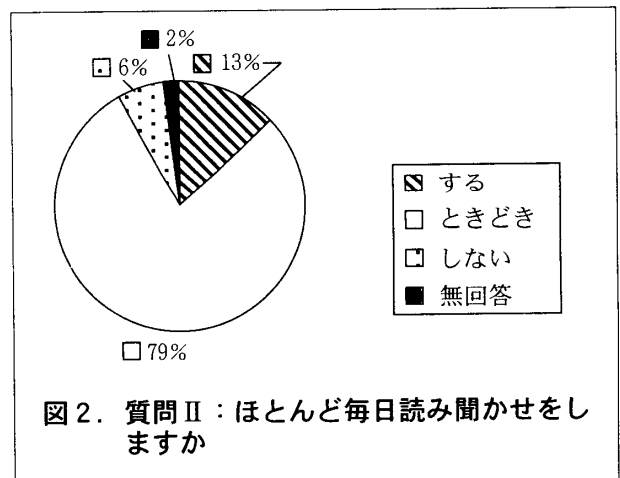
**調査項目：**I 母親への現状調査；家庭における読み聞かせの状況に関する項目 7 項目 (頻度・開始時期・読み聞かせる人・時間帯・時間数・図書館等へ子どもを連れて行くか・絵本の購入頻度)、II 母親への意識調査；読み聞かせの意義 5 項目 (3 段階評定、表 1 参照)。III 幼児の読書行動の指標；5 月から 11 月の間に幼稚園の絵本の部屋で園児に貸し出した絵本の冊数。

## 【結果と考察】

### I 母親への調査：読み聞かせの現状

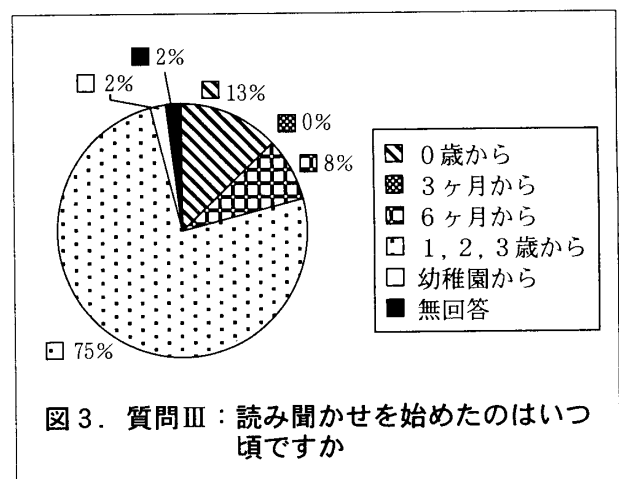
#### ① 頻度

毎日読み聞かせをするかについて図 2 に示した。質問したところ、「ときどき」すると答えた人が 50 名 (79.4%) と最も多く、「毎日する」と答えた人が 8 名 (12.7%)、「しない」人が 4 名 (6.3%) であった。幼稚園年長児においては、「読み聞かせを時々行っている」家庭が、8 割を占めることがわかった。



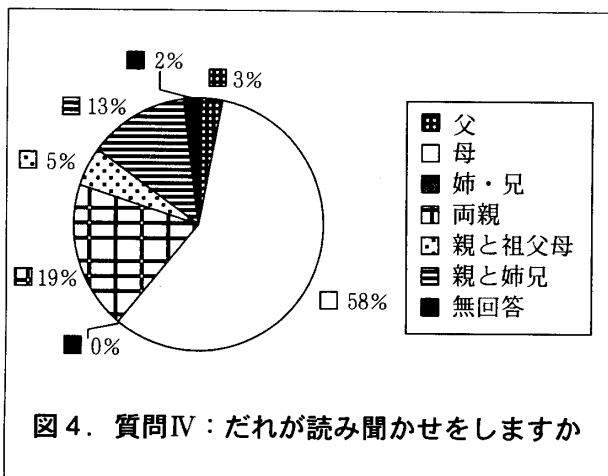
#### ② 始めた時期

読み聞かせを始めた時期について図 3 に示した。「1、2、3 歳」の頃始めた人が最も多く (48 名、76.2%)、次いで「0 歳」(8 名、12.7%)、「6 ヶ月」(5 名、7.9%)、「幼稚園」(1 名、1.6%) の順であった。乳児期の「3 ヶ月」から読み聞かせを始めた人はいなかった。1 歳台から読み聞かせを開始している親が多いことが分かった。



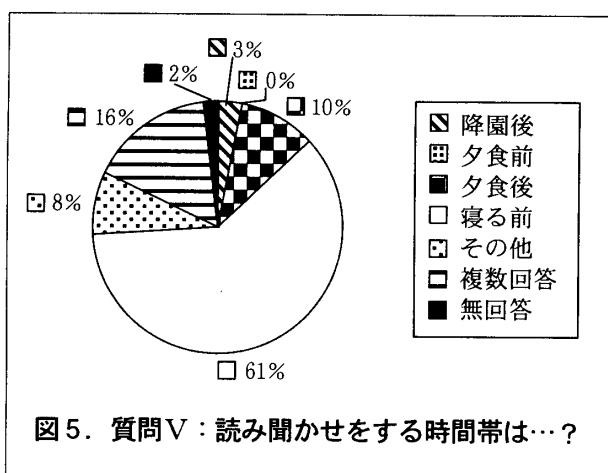
③ 誰がするか

誰が読み聞かせるかについては図4に示した。「母親」が最も多く(37名、58.7%)、「両親」(12名、19.0%)、「親と兄弟」(8名、12.7%)、「親と祖母」(3名、4.8%)、「父」(2名、3.2%)の順で回答が得られた。読み聞かせをする主体は、母親が多いが、組み合わせも多様であり各家庭で工夫している様子がみられた。



④ 時間帯

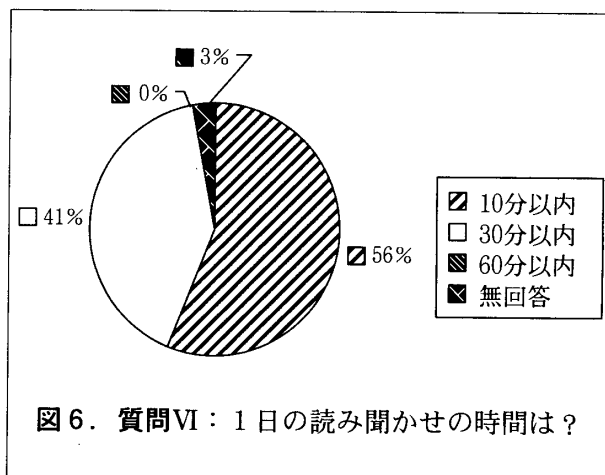
読み聞かせをする時間帯について図5に示した。最も多かったのが「寝る前」で39名(61.9%)であり、次いで「複数回答：降園後と寝る前など」(10名、15.9%)、「夕食後」(6名、9.5%)等であった。



⑤ 時間数

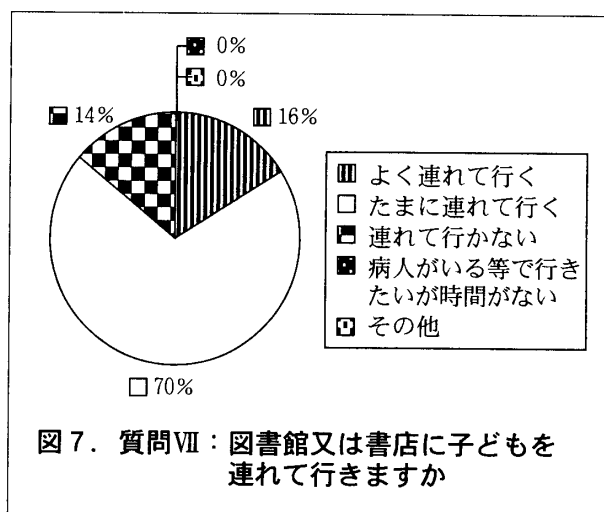
1日の中で読み聞かせをする時間数について図6に示した。「10分以内」の人が最も多く35名(55.6%)で、「30分以内」の人が26名(41.3%)

であった。読み聞かせをする時間は長いものではないことが明らかになった。読み聞かせの意義は理解できても、時間がないので読み聞かせをしない親もいるが、短時間でも続けることの意義があることが示唆された。



⑥ 図書館や書店の利用頻度

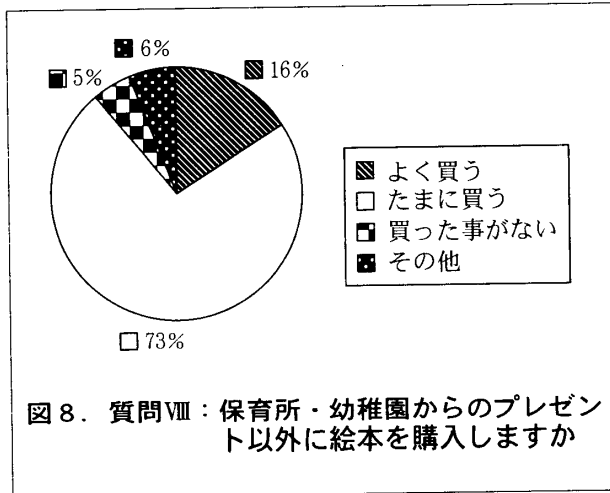
家庭の読書環境の1側面として、本を手にとることができる環境を与えているかという面も重要である。そこで、本研究では「子どもを図書館や書店に連れて行くか」という質問でこれをとらえようとした。その結果を図7に示した。「たまに連れて行く」と答えた人が最も多く(44名、69.8%)、「よく連れて行く」(10名、15.9%)、「連れて行かない」(9名、14.3%)となった。



⑦ 書籍の購入

同様に購入するかということも、読書環境の重要な側面であるため、購入頻度について図8にし

めした。保育所、幼稚園からのプレゼント以外に絵本を購入する頻度は、「たまに買う」(46名、73.0%)、「よく買う」(10名、15.9%)の順で多く、「買ったことがない」人は3名(4.8%)、「その他」は4名(6.3%)いた。



## II 読み聞かせの意義

読み聞かせの大切さ5項目(表1)について、「よくあてはまる」・「どちらでもない」・「まったくあてはまらない」の3つの選択肢に答えてもらった。各項目への反応を図9に示した。その結果、もっとも大切である認知される項目は『創造性』で、「よくあてはまる」と答えた人が60名(95.2%)で、第2位は『親子の触れあい』項目で、58名(92.1%)で、第3位は「話が聞ける」50名と「集中力」50名で、第5位が「文字」と答えた者43名であった。Y園では、創造性や親子の触れあいの意義(9割)を重視する親が多く、次に集中力や話を聞ける(8割)が続き、文字の意義を重視するものは6割であった。親子の触れあいや創造性は、秋田他(1996)や小林(2000)の提唱した内生的意義にあたり、文字は外生的意義にあたるものである。

表1. 「読み聞かせの意義」尺度項目内容

- 1 絵本の世界を楽しみ、創造性を養う。
- 2 人の話を静かに聞くようになる。
- 3 文字を覚えるようになる。
- 4 子どもに集中力をつけるために。
- 5 親と子の触れあいのために。

## III 性差による現状・意義の違い

次に、子どもの性別によって、読み聞かせの現状や意義に差があるかを検討した。t検定の結果、絵本の購入頻度において性差が有意に認められた( $t=2.074$ ,  $P<.05$ )。これは、男児よりも女児を持つ親の方が絵本をよく購入している事を示唆している。また、読み聞かせを始めた時期について、t検定を行った結果、男児よりも女児に対して読み聞かせを始めた時期が早い傾向にあった( $t=1.725$ ,  $P<.10$ )。その他の現状・意義項目においては、性差が認められなかった。この結果は、女児に対しては絵本をよく買い与え、読み聞かせをしていることを意味する。この結果は親主導で女児に対して積極的に絵本を薦めるといよりも、男児は他の玩具(車など)を好むので、結果として絵本の購入や読み聞かせが少なかったということかもしれない。

## IV 幼児の変数：絵本の借り出し冊数の性差

5月から11月までの間に幼児が借りた絵本の冊数の平均値を性別に算出した。女児は12.64冊(標準偏差3.85)、男児は10.92冊(標準偏差4.12)で女児のほうの冊数が多い傾向があったが、t検定を行ったところ、その差は有意ではなかった。ちなみに、最小冊数は3冊、最大冊数は20冊であった。付録に借り出された本名の全リストを示した。ジャンル別の分類の分析を今後行っていきたい。

## V 読み聞かせの意義

### ① 読み聞かせ現状の内部相関

読み聞かせの現状項目間の関連を検討するために、相関係数を求めた(表2参照)。その結果、『読み聞かせの頻度』と『子どもを図書館等に連れて行く』の間に有意な正の相関が認められた(.331)。これは、毎日読み聞かせをする人ほど、子どもを図書館や書店によく連れて行くこと、また読み聞かせが少ない人ほど連れて行かない傾向があることを表している。

『読み聞かせを始めた時期』と『絵本の購入頻度』の間にも有意な正相関が認められた(.378)。この結果から、読み聞かせを始めた時期が早いほど、絵本を購入することが多いこと、また時期が遅いほど、自ら絵本を購入することが少ないこと

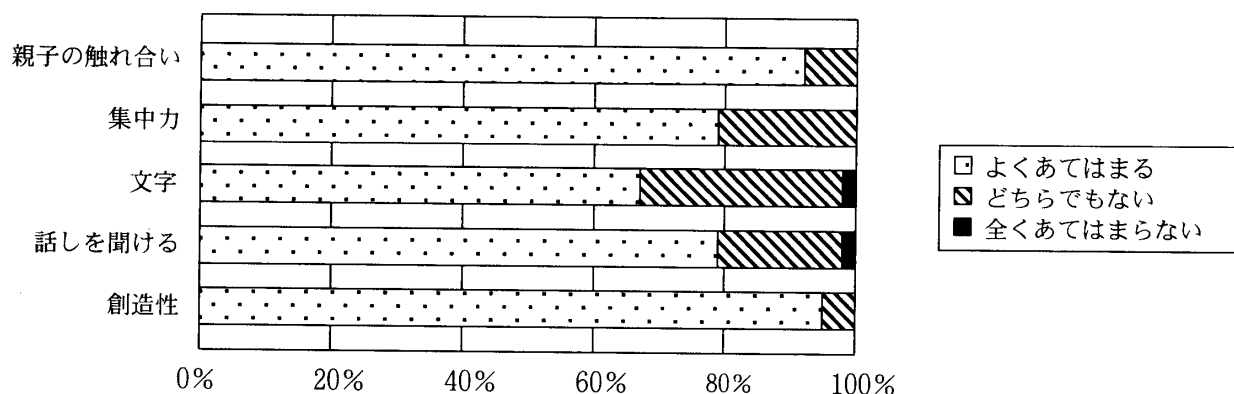


図9. 質問区：読み聞かせの大切さ

表2. 「読み聞かせの現状」の内部相関

	1.	2.	3.	4.	5.
1. 読み聞かせの頻度	—	.103	-.147	.331**	.220
2. 開始の時期	.103	—	-.002	.243	.378**
3. 1日の時間	-.147	-.002	—	-.034	-.165
4. 図書館等へ子どもを連れて行くか	.331**	.243	-.034	—	.043
5. 幼稚園からのプレゼント以外に絵本を購入するか	.220	.378**	-.165	.043	—

表3. 「読み聞かせの意義」の内部相関

	1.	2.	3.	4.	5.
1. 創造性	—	.220	.148	.070	.486**
2. 話を聞ける	.220	—	.371**	.443**	.375**
3. 文字	.148	.371**	—	.208	.155
4. 集中力	.070	.443**	.208	—	-.005
5. 親子の触れ合い	.486**	.375**	.155	-.005	—

がわかった。

② 読み聞かせの意義の内部相関

読み聞かせの大切さ項目内での関連を検討するために、相関係数を求めた(表3参照)。その結果、『話しを聞ける』項目と、『文字』(.371)、『集中力』(.443)、『親子の触れあい』(.375)項目との間に有意な正相関が認められた。話を聞けるといふ意義を重視するものは、文字や集中力、

そして親子の触れあいの意義も重視していることが分かった。

③ 現状と意義項目との相関

読み聞かせの現状と、読み聞かせに対する意義との関連を検討するために相関係数を求めた結果(表4)、現状の『子どもを図書館等に連れて行く』項目と、読み聞かせの意義『創造性』(-.278)、『文字』(-.249)、『親子の触れあい』(-.329)項

表4. 「読み聞かせの現状」と「読み聞かせの意義」の相関

現 状	意 義	創造性	話しを聞ける	文 字	集中力	親子の 触れ合い
読み聞かせの頻度		-.027	-.074	.047	.115	-.180
開始時期		-.099	-.115	.016	.005	-.130
1日の時間		-.111	.070	.192	.206	-.105
図書館・書店へ子どもを連れて行くか		-.278*	-.078	-.249*	.200	-.329**
幼稚園からのプレゼント以外に絵本を購入するか		.005	-.040	.062	.012	.007

目との間に有意な相関が認められた。このことから、子どもを図書館や書店に連れて行く人ほど、読み聞かせすることで「創造性を養う」ことが大切だと考えたり、「文字を覚えるようになる」ことがあてはまると考えていたり、「親子の触れ合いのため」に読み聞かせが大切だと考える人が多いことが示唆される。

#### ④ 現状と冊数の間の相関

読み聞かせの現状の各項目と、幼児が借りた絵本の冊数との間の相関を算出したが、両者の間には関連がなかった。

#### ⑤ 意義と冊数の間の相関

読み聞かせの意義の5項目と貸し出し冊数との間の相関を算出したが、両者の間に有意な相関は得られなかった。④と⑤の結果から、親の読み聞かせの現状や価値づけは、園児の読書行動、すなわち本を借りる冊数には影響を与えないといえる。この結果から、家での経験と関係なく、幼稚園での働きかけが幼児の読書行動に直接的効果を持つ可能性も示唆される。教師の話では、木曜日に借りた本を手提げバックに入れて持ち帰らせ、保護者に読み聞かせをしてもらうことが目的であった。中には借りただけで、読んでもらったり、読んだりした形跡がなくそのまま、月曜日に返却する園児もいるようだ。したがって、借りただけで実際に読んでいないかもしれないので、借り出し冊数は読書行動のめやすにはなるが、完全に一致するものではなさそうだ。幼児期における読書行動の指標のありかたについては、今後検討していきたい。

#### 今後の課題

本研究では、幼稚園児を持つ母親の認知する読書の意義として、内生的意義と外生的意義があることが確認された。幼児の側の変数として、借りた冊数のみを検討したが、親の読み聞かせなどへの関与が子どもの読書行動（冊数）との関連はみられなかった。原因の第1点として、被験者数が少ないために有意な結果とならなかったことが最大の要因であろう。第2点として、借りた冊数のみでは不十分なので、読書能力などの認知的要素についても検討していく必要があるだろう。今後子どもの側の測度を検討していきたい。

横山・秋田（2002）は、乳児期からの絵本の出会いについて検討し、読み聞かせの経験が子どもの絵本への集中を育む可能性を示唆している。また母子の安定した関係や育児ストレスは母親の読み方に影響することが明らかになった。

母親への読書指導の啓蒙も幼稚園教育の重要な課題である。「『読み聞かせ』が大切なことは分かるけど、どの本を選んでいいかわからない」「読み聞かせても、うちの子は興味を示してくれない」などという母親は少なくない。絵本の読み聞かせ以前に「子どもにどう接していいかわからない」、「育児が楽しめない」という母親も増えてきた。母子の間の絆を強める手段として、誰でもすぐできることは絵本の読み聞かせをしてあげることだ。子どもと親子で一緒に絵本を楽しむ時間を1日10分でも積み重ねていくことは、新米ママに子どもとのかかわりの楽しさを教えてくれる。親子で絵



本を楽しむ時間は、はじめは義務でも、やがて楽しみへと変化していこう。

現代はTVやVTRやゲームなど、子どもを楽しませるものが本以外にも豊富にあり、読み聞かせの意義は相対的に低くなっているのかもしれない。特に家庭での書籍購入が少い沖縄県では、園で読み聞かせの大切さを強調する意義があるだろう。啓蒙の方法としては、講演などで意義を強調するだけでなく、他の母親が読み聞かせをすることの観察や、実際に母親に読み聞かせをする機会を作るなどの工夫が必要になる。下記の補稿の中でいくつかの工夫を紹介する。

## 補 稿

### 公立幼稚園における読書指導について

Y幼稚園で取り組んだ幼児期の読書の大切さを保護者にも認識してもらうための啓発活動と読書環境を園以外に広げる試みについて紹介しておく。

Y幼稚園では、以下の4種のとりくみを行った。

①講演等による導入活動、②母親による読み聞かせ体験、③県立図書館見学。④小学校4年生による読み聞かせ。この試みは図らずも読書環境に秋田(1998a)が紹介したBronfenbrennerのエクソシステム(図1参照)を構築する試みである。具体的には学校と家庭を結びつける試み、幼稚園外の公立図書館という公共のネットワークに参加させる試み、幼少連携の試みである。

#### ① 講演・イベント等

この活動は、イベント的な単発の行事であった。親を対象としては絵本と幼児の発達との関連についての講演を7月に行った。親子を対象として読み聞かせの楽しさを体験してもらうことを目的として、図書館司書による絵本の読み聞かせ(絵本だけでなく、玩具や大型紙芝居、パネルシアターを用いた)開催した。

#### ② 母親や上級生による読み聞かせ体験

これは日常的で継続的な週2回の取り組みである。小学4年生と保護者による読み聞かせを毎週火曜日と木曜日(弁当の日)のお昼前に行った。また、絵本の貸出を毎週木曜日に絵本の部屋で行った。期間返却日は翌週の曜日とした。各自1冊の貸し出しカードを作成したので、借りた冊数や書

名が記録できるようになっている(付録参照)。ボランティアの保護者が貸出業務を行った。Y園では未就園児の親子が通園する未就園児親子クラスが開催されていて、絵本の部屋がそのための部屋を兼ねていた。そのため、絵本の部屋には未就園児の保護者がいることが多い。

Y園では、子育て支援事業の一環として未就園児の母子のためのクラスがある。絵本の部屋は未就園児のために部屋も兼ねているために母親がいることが多いので、彼女たちが貸出業務を行った。

#### ③ 県立図書館見学

「幼児連れでは、静寂な図書館に入館することにはためらいがある」という母親の声があり、大きな公共の図書館は敷居が高いという印象が一般にはある。Y園ではそのような敬遠や躊躇を取り払って、気楽に幼児連れでも図書館に足を運んで欲しいという意図で2回開催された。県立図書館では図書借用カードも幼児ごとに作成したが、貸し出し状況を個別に把握することはできなかった。

#### ④ 4年生による読み聞かせ

4月中旬から幼少連携の一貫として4年生各学級から5、6名が清掃のために幼稚園にやってきた。10月から清掃は園児が行い、4年生は図書館から選んできた絵本を園児に読みきかせることを開始した。以上4つの試みの効果性については、調査を行うことはできなかったので、母親の感想を報告するに留める。

①パネルシアターに参加した園児の母の感想「ずっと読み聞かせしていたけど、下の子ができて手がかかるので読み聞かせは途絶えてしまって。下の子ももう2歳になったのに途絶えたままでした。これを機会にまた再開します」。

②読み聞かせのボランティア体験をした母親の感想「馴れないので心配でしたが、真剣に聞いてくれたので、嬉しくなりました。読み聞かせがおっくうでなくなりました」。

③幼稚園で計画された「親子での県立図書館の見学」に参加した母親の感想「図書館は子連れで入ってはいけない所だと思っていました。敷居が高くて。静かな所で騒いだら迷惑だし、本を破ったらどうしようと思うし。でも今回参加してみて大丈夫だと分かった。幼児のためのコーナーもあって床に座れるし。子どもも本は大切に扱うものだ

と分かったようで丁寧に扱っていた。帰りには公園で皆一緒に遊んだ。遊具はないけど鬼ごっこや、おいかけっこして楽しかった」。

④4年生の読みかせが開始した直後は、静かに聞けない幼稚園児もいたが、聞く態度のマナーも良くなってきた。4年生も幼稚園生の前で絵本を読むことに緊張する場面もみられたが、場数を踏む事によって慣れてきた。

読書は他の学習活動とは違って、楽しみのためという目的も大きいので強制的に指導しても効果はない。強制的な読書指導は読書嫌いをつくることになりかねない。読書環境を拓く試みは、間接的な効果、すなわち途絶えていた読み聞かせを再開するという促進機能、まねてみたら難しくなかったというモデリング機能など、を目的として計画していくことが望ましいと考える。

## 謝 辞

本稿の執筆にあたって、学校教育専修の若松昭子助教からの貴重なご示唆を得ました。記して感謝いたします。

## 引用文献

- 秋田喜代美・無籐隆 1996 幼児への読み聞かせに対する母親の考えと読書環境に関する行動の検討 教育心理学研究, 44, 109-120.
- 秋田喜代美 1998a 読書の発達心理学 国土社
- 秋田喜代美 1998b 読書の発達過程—読書に関わる認知的要因・社会的要因の心理学的検討— 風間書房
- 東洋 1994 日本人のしつけと教育 東京大学出版会
- ブロンフェンブレンナー・U (著) 1996 磯貝芳郎・福島護 (訳) 人間発達の生態学 川島書店
- 河合隼雄・松居直・柳田邦男 2001 絵本の力 岩波書店
- 小林貞浩 2000 親の関与が児童の読書行動に及ぼす影響 上越教育大学院修士論文
- 守屋慶子 1994 子どもとファンタジー—絵本による子どもの自己の発見 新曜社

沖縄県対米請求権事業協会 2001 100の指標からみた沖縄県のすがた 沖縄県企画開発部企画調整室

田代康子 2001 もっかい読んで ひとなる書房

横山真貴子・秋田喜代美・支援センター 2002 ブックスタートプロジェクトにおける絵本との出会いに関する親の意識(4) 日本乳幼児教育学会12回大会研究発表論文集, 118-119.

付 録：絵本の貸し出しリスト

No. 1

10+1ぴきのかえる	5冊	おしいれのぼうけん	1冊	くわがたむし	5冊
10ぴきのかえるのたなばたまつり	5冊	おしゃべりなたまごやき	4冊	くわずによぼう	1冊
11がつのなぜなぜ	1冊	おだいじに	1冊	ケービンアヒュー(軽便鉄道)アヒュー	1冊
11ぴきのねことあほうどり	1冊	おだんごばん	2冊	げんきなマドレーヌ	2冊
11ぴきのねことへんなねこ	2冊	おつかいどきどき	3冊	こうちゃんはだんごむし	1冊
11ぴきのねこふくろのなか	1冊	おつきさまでたよ	1冊	コオロギ	2冊
14ひきのあさごはん	3冊	おなかでチクタク	1冊	こがねぐも	5冊
4月のなぜなぜ	1冊	おなかのなかにおにがいる	1冊	ごきげんななめのとんとむし	2冊
Guess What In Doing	1冊	おなら	1冊	こぐまのぼうけん	2冊
あいうえおえほん	1冊	おにムーチー	1冊	こぐまのまぐのなつやすみ	1冊
あおい目のこねこ	2冊	おばあさんのすぷーん	1冊	こだぬきのこいのぼり	3冊
あけましておめでとう	3冊	おばけかな?ほんとかな?	4冊	ごちゃまぜカメレオン	1冊
あしあしあし	1冊	おばけちゃんとまじよのいえ	2冊	コップ	1冊
あしたえんそくだから	4冊	おばけのバーバパパ	8冊	コップをわったねずみくん	1冊
あしたプールだがんばるぞ	1冊	おばけのひゅーどろ	1冊	ことばのべんきょうくまちゃんのあいさつ	2冊
あしながうさぎのたくはいびん	1冊	おはようミケット	1冊	ことばのべんきょうくまちゃんのいちにち	1冊
あたたかいおくりもの	2冊	おへそにきいてごらん	1冊	こどもとしぜん	2冊
あたらしいのりものずかん	1冊	おやつですよ	1冊	ことろのぼんば	1冊
あぶないあそび(かみしばい)	2冊	ガーナー森とオバー岩	2冊	このひもなあに	2冊
あめ 雨	1冊	かいじゅうたちのいるところ	1冊	ごむのじっけん	1冊
あやとりいととり	1冊	かえるのいえさがし	1冊	ころちゃんはだんごむし	4冊
アリ	1冊	かさじぞう	1冊	こわいことなんかあらへん	1冊
アリゲーくんとやまのむこう	2冊	かたつむりののんちゃん	3冊	こんちゅう	4冊
ありこちゃんのおてつだい	4冊	ガッフェとおおおとこ	1冊	こんとあき	2冊
ありんこちいちゃん	3冊	カナリヤタクシー	1冊	サーカスだいさくせん	1冊
アレクサンダとぜんまいねずみ	1冊	カニ	3冊	さむがりやのサンタ	1冊
アンディとらいおん	1冊	かにかにのすなだんご	1冊	サラダとまほうのおみせ	2冊
アンパンマンのサンタクロース	7冊	カバのはいしゃさん	1冊	ザリガニ	3冊
いえができるまで	1冊	かばまだら	1冊	さるとかに	1冊
イソップ童話10	1冊	かぶとむし	3冊	サンタクロースとれいちゃん	2冊
いたずらきつねとふうせん	3冊	カブトムシ	4冊	サンタにてがみがとどいたよ	2冊
いただきます	1冊	かぶとむしのぶんちゃん	3冊	さんびきのこぶた	5冊
いただきますあそび	2冊	かまきりのかまくん	2冊	ジオジオのかんむり	1冊
いっしょにおよごうおつきさま	1冊	かめさんのふゆごもり	1冊	しおだまりであそぼう	1冊
いっすんぼうし	1冊	からすのパンやさん	5冊	じかんってなあに	1冊
いないいないばあ	1冊	からだのなかでドウンドウンドウン	1冊	しごととくらし	1冊
いないいないばああそび	2冊	きつねとねずみ	1冊	しずく	1冊
いぬのきもち	3冊	きのみのかき	1冊	しずくのぼうけん	2冊
いまなんじ	2冊	きょうはなんのひ	2冊	しぜん	1冊
いもむしごろごろ	1冊	きょうりゅう	1冊	しぜんいちご	1冊
いろいろにじのくに	1冊	ぎんいろのボタン	3冊	しぜんてんとむし	1冊
ウォーリーのおもしろゲームブック	6冊	ギンガマン	1冊	しぜんのえほん	3冊
ウォーリーハリウッドへいく	2冊	ギンガマンひみつ大図鑑	1冊	しぜんのえほんくわがたむし	1冊
うしとうま	1冊	キンダーブック	4冊	したきりすずめ	1冊
うみがめ	1冊	キンダーブック げんきがだいすき	1冊	ジュニアメイト	2冊
うみのがくたい	1冊	くさやきのせかい	1冊	じゅりじゅりのなつやすみ	1冊
エイサー	1冊	くじらがとんだひ	1冊	しょうぼうじどうしゃじぶた	1冊
えんにち	4冊	くずかごおばけ	3冊	ジョンのたんじょうび	1冊
おもいができた	1冊	クマのたんす	2冊	しろいうさぎとくろいうさぎ	3冊
おおかみとかげぼうし	1冊	くまのプーさんおたんじょうびパーティー	3冊	しろねこしろちゃん	1冊
おおかみのおうさま	1冊	グリーンマントのピーマンマン	2冊	しんぶんしであそぼう	1冊
おおきなおおきなおも	2冊	ぐりとぐら	4冊	スーホの白い馬	3冊
おおきなかぶ	2冊	ぐりとぐらとくるりくら	2冊	すずめおはなみごう	2冊
おおきなきがほしい	1冊	ぐりとぐらのえんそく	4冊	すずめのくらし	2冊
おおずもうがやってきた	2冊	ぐりとぐらのおきやくさま	1冊	すてきなさんにんぐみ	2冊
おおばこ	1冊	ぐりとぐらのかいすいよく	3冊	すながに	2冊
おきなわむかしばなし	1冊	ぐりとぐらのくるりくら	1冊	スペースシャトルしゅつぱつ	3冊
おきなわむかしばなし2	1冊	クルトンさんとつきのパン	1冊	すみれとあり	1冊
おきなわ生活科ずかん 秋	1冊	ぐるんぱのようちえん	1冊	せなかをびん	2冊
おきなわ昔ばなし2	2冊	くわがたのがたくん	3冊	セミ	3冊

沖縄県の幼児の読書環境を拓くための予備的研究

No. 2

せみのぬけがら	1冊	ねずみくんのひみつ	3冊	みんなみんなぼくのともだち	5冊
せんたくかあちゃん	3冊	ねずみでんしゃ	1冊	ムーミンとあめ	1冊
ぞうくんのさんぽ	2冊	ねずみのいもほり	4冊	ムーミンとおばけやしき	2冊
そらまでとんでけ	4冊	ねずみのかいすいよく	3冊	ムーミンとおはなのくにおまつり	2冊
だいすきだいすき	3冊	のってみたいのりもの	1冊	ムーミンとサーカスけんぶつ	2冊
だいすきハムスター	2冊	のろまなローラー	4冊	ムーミンとサッカー	2冊
たかせたかしくん	1冊	バーバパパたびにでる	4冊	ムーミンとマジック	1冊
タカちゃんとおかがに	2冊	はけたよはけたよ	1冊	むぎゆむぎゆよいしよ	2冊
たこやきマントマン	3冊	はじめてのおつかい	4冊	むし	1冊
たのしいバスがいっぱい	1冊	はじめてのおるすばん	3冊	むし くらしとかいかた	1冊
だるまちゃんとうさぎちゃん	3冊	ぼったのびよんこちゃん	2冊	むしとあそぶほん	1冊
たんぼぼ	1冊	はな	1冊	むしばきんがやってきた	2冊
だんまりこおろぎ	1冊	パパおつきさまとって	3冊	もこもここ	1冊
ちびちゃんバスにのって	1冊	はははのはなし	1冊	モチモチの木	2冊
チャイルドブックゴールド	1冊	はやあしうさぎ	3冊	ももいろのきりん	2冊
チョウ	5冊	はやいぞしんかんせん	1冊	もりいずみはらっぱのあそび	1冊
ちょうちよのしろちゃん	1冊	はらぺこあおむし	5冊	もりのふゆじたく	6冊
つきのぼうや	3冊	はりねずみのピククル	1冊	もりのむしとのはらのむし	6冊
つとむくのかばみがき	1冊	はるがきた	2冊	もりのようふくや	2冊
つめつめつめ	2冊	はるまでまってごらん	2冊	やっばりおおかみ	1冊
てじな	2冊	ピーターパン	1冊	やっほーどん	3冊
でてこいちゅーりつぶ	3冊	びーちゃんくもとぶ	3冊	やまのきかんしゃ	1冊
てとてとゆびと	1冊	びかくんめをまわす	1冊	やんばるくいなとカラス	1冊
てんさいえりちゃん	1冊	ひがたのかに	1冊	やんばるせんのおくりもの	1冊
てんとうむし	2冊	びじよとやじゅう	1冊	ゆうくんのおひなさま	2冊
てんとうむしのでてんちゃん	3冊	ひとりであんちできるかな	7冊	ゆうちゃんのゆうは？	2冊
どうながのプレッツェル	3冊	ひゃーおばけがいっぱい	3冊	ゆうびんやさん	1冊
どうぶつあいうえおえほん	2冊	びよんとこさんのうさぎちゃん	1冊	ゆかいなかえる	1冊
どうぶつおもしろずかん	1冊	プーさんとはちみつ	4冊	ゆきおんな	1冊
どうぶつので	1冊	プーさんのメリークリスマス	5冊	ゆきだるま	6冊
どきどきよぼうちゅうしゃ	1冊	ふくろうとおじいさん	1冊	ゆきのひ	2冊
どこからきたの	1冊	ふたつのいちご	2冊	ゆきのひのゆうびんやさん	4冊
トッチーくんのカレーようび	2冊	ブナガヤとオジー	1冊	ゆめのおはないきいてえなあ	2冊
ドラえもんとおそぼう てんきになあれ	1冊	ふゆふかふか	2冊	ようちえんがまってるよ！	3冊
どらせんせい	1冊	ブルーナのどうぶつ	1冊	ライオンとネズミ	4冊
どろんこハリー	1冊	ブレーメンのおんがくたい	2冊	りすせんせいははいしゃさん	1冊
とんとんみーときじむな一	1冊	へこき三良	1冊	りんごみのった	1冊
とんぼ	1冊	ベンジーのふねのたび	1冊	レストランバスそらをとぶ	2冊
とんぼのあかねちゃん	4冊	ぼくおつきさまとはなしたよ	3冊	ロージーのおさんぽ	2冊
とんまなとんくま	1冊	ぼくがいるとこどーこだ	1冊	ロボットカミイ	2冊
ないたあかおに	1冊	ぼくがとぶ	1冊	わたし	2冊
なかよしねこちゃん	1冊	ぼくのくれよん	8冊	わたしとあそんで	1冊
なかよしメイト	1冊	ぼくのでぶくろ	2冊	わにがわになる	1冊
なつのほん	2冊	ぼくのわたしのすいぞくかん	1冊	わんぱくだんのかくれんぼ	2冊
なつやすみ虫ずかん	1冊	ぼくびょうきじゃないよ	1冊	わんぱくだんのかからじま	1冊
ななほしてんとう	1冊	ぼくもうなかないぞ	2冊	わんぱくだんのロボットランド	2冊
なみだくんありがとう	1冊	ぼくやってみるよ	4冊	宇宙刑事ギャバン	1冊
なりたがりやのくも	3冊	ポケットモンスターめいろえほん	1冊	火ねこのはなし	1冊
にこにこばくっ	1冊	ボスがきた	2冊	恐竜	1冊
にほんのおはなし	1冊	ほたるのよる	1冊	空のペンキやさん	2冊
にほんのかきのき	1冊	ポン太とヒュー子	2冊	うさぎましろのお話	1冊
にわにくるとり	1冊	マジックポリちゃん	3冊	新おきなわ昔ばなし	9冊
にんじんばたけのパピブペポ	3冊	まっくろネリノ	2冊	新おきなわ昔ばなし2	1冊
ねこねるのがすき	2冊	ママあててみて	3冊	水の生物	2冊
ねずみくんとおんがくかい	1冊	ママお話しきかせて	1冊	生活科ずかん	2冊
ねずみくんとねみちゃん	2冊	まよなかのぼうけん	3冊	生活科ずかん春	1冊
ねずみくんとブランコ	3冊	マルコポーロ	1冊	虫の成長ずかん	2冊
ねずみくんとわにくん	2冊	ミコ	2冊	長ぐつをはいたねこ	1冊
ねずみくんねずみくん	5冊	みつすきですか	2冊	鳥	1冊
ねずみくんのチョッキ	3冊	みんなではしろう	1冊	土の下のアパート	3冊